

滝沢市公共施設等総合管理計画 個別施設計画

第一期

(2020年～2026年)

【スポーツ施設】

令和2年4月

滝沢市教育委員会生涯学習スポーツ課：

東部体育館、勤労者体育センター、総合公園体育館、総合公園野球場、
総合公園陸上競技場、総合公園テニスコート

個別施設計画（スポーツ施設）（第一期）

1 目的

この計画は、滝沢市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとに方針を定めるものとします。

2 対象施設

この計画は、総合管理計画で分類する「スポーツ施設」に該当する施設を対象とします。

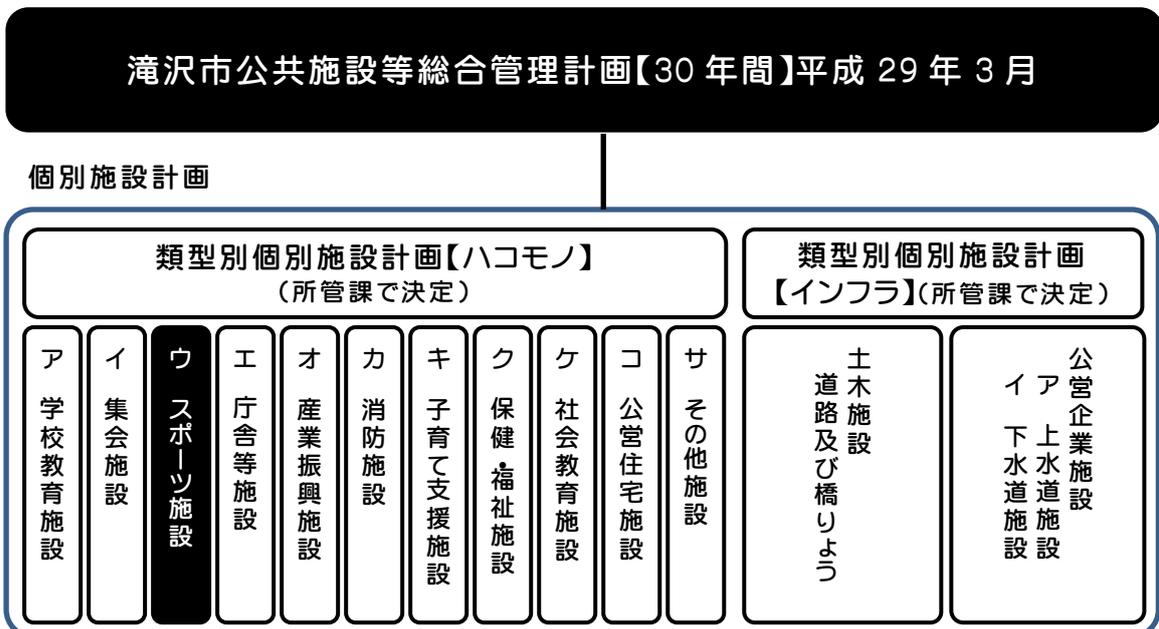
3 計画期間

総合管理計画の計画期間 2017年度（平成29年度）から2046年度までの30年を三期に分け、2020年度から2026年度までを第一期とし、この計画の期間とします。

この計画の見直しは、総合管理計画の見直しと同時期（5年ごとの国勢調査の確定値の公表年度）としますが、社会情勢等により変更が必要となった場合には、その都度見直すこととします。



4 計画の関係



5 計画の推進・管理体制

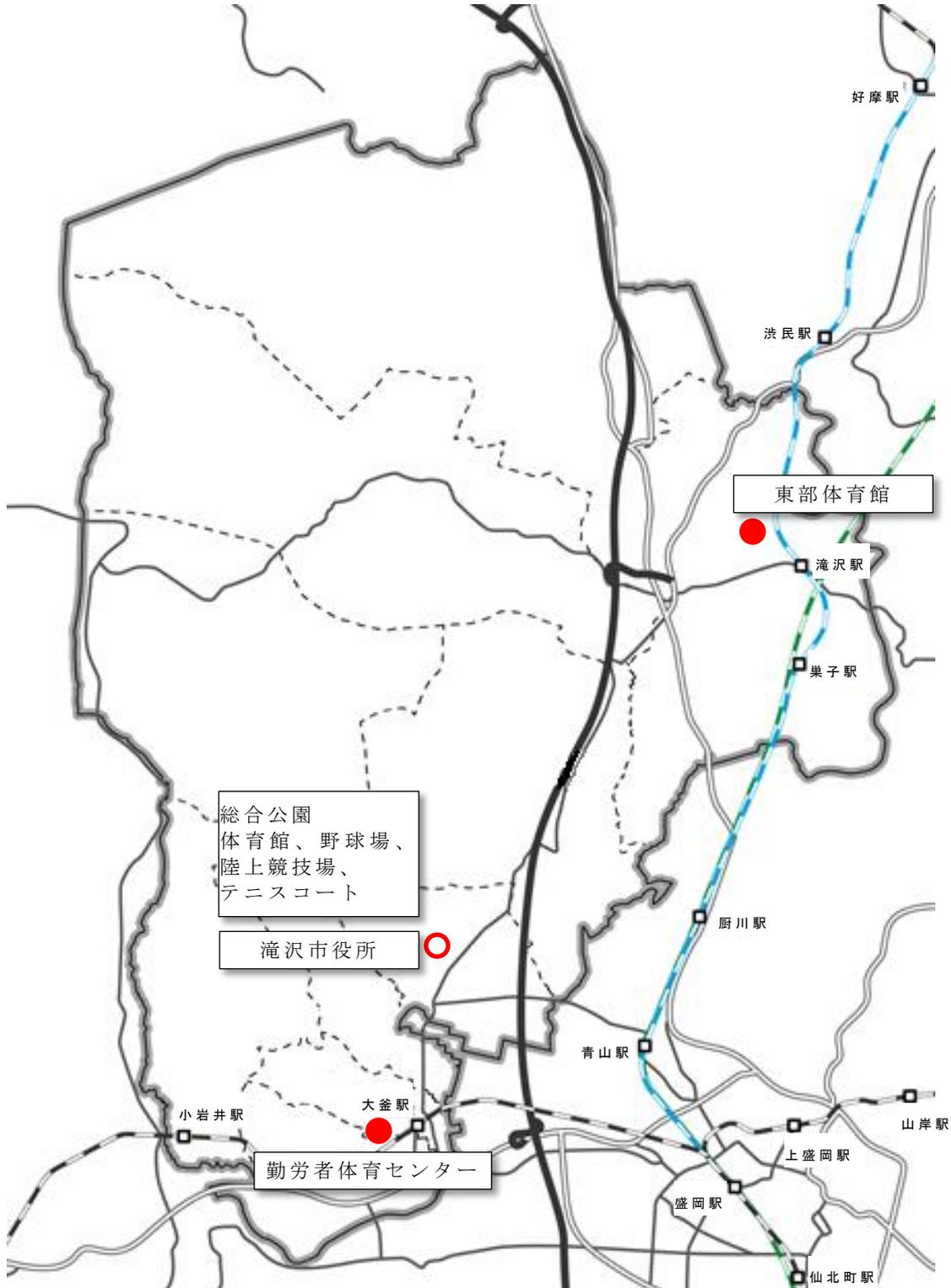
個別施設計画については、総合管理計画の類型ごとに策定する計画であるため、各施設所管課において各施設の方向性を検討し策定します。施設の所管が複数課にまたがる場合や横断的な判断が必要とされる場合には、滝沢市公共施設等総合管理推進プロジェクトチーム会議において調整した後、事務局である財務課が総合調整を行います。

個別施設計画策定後は、毎年度PDCA管理により計画の進捗状況を把握し、計画を見直しするなど施設の計画的な改修等に努めます。

6 施設一覧

施設名	建物名	建築年度	経過年数 (2017現在)	構造	延床面積 (㎡)
滝沢市東部体育館		1982	35	RC造	2,661.17
滝沢市勤労者体育センター		1986	31	S造	1,075.20
滝沢総合公園体育館		1990	27	RC造	5,898.28
滝沢総合公園野球場		1990	27	RC造	1,482.16
滝沢総合公園陸上競技場		1990	27	RC造・木造	92.87
滝沢総合公園テニスコート	クラブハウス	1990	27	木造	110.57
				面積計	11,320.25

スポーツ施設位置図



7 施設の状況

スポーツ施設においては、築30年を迎える、又は、経過した施設であり、経年劣化や老朽化に伴う大規模改修の時期を迎えています。

8 利用状況

アリーナを有する施設に共通して土日休日と夜間の利用については、各種スポーツ団体、種目別協会などの活動の拠点として多くの利用がされている状況です。また、テニスコートにつきましてもグループや個人での利用がされておりトレーニング室も同様に多くの皆様のご利用を頂いているところです。一方、野球場や陸上競技場に係る利用については、基本的に大会やイベントなどが主な形態となり、日常的な利用については少ない状況にあります。

9 更新費用の推計

総合管理計画では、公共施設（ハコモノ）の大規模改修及び建替えに係る経費の見込みを2017年から2046年までの30年間で総額約354億円と試算していますが、個別施設計画策定に伴い再精査した結果、総額約361億円（年平均12億円）となりました。その中でスポーツ施設においては、大規模改修及び建替えに係る経費見込みとして30年間で約22億円を見込んでいます。

10 過去実績の推移

施設情報基本シートより、スポーツ施設における2014から2016年度までの施設に係る支出（維持費）は、次のとおりとなっています。

単位：千円

	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	計
滝沢市東部体育館	22,798	21,892	21,892	66,582
滝沢市勤労者体育センター	35,018	5,497	5,497	46,012
滝沢総合公園体育館	49,562	356,717	33,747	440,026
滝沢総合公園野球場	12,616	13,987	12,342	38,945
滝沢総合公園陸上競技場	81,931	17,454	13,254	112,639
滝沢総合公園テニスコート	8,777	10,971	8,777	28,525
計	210,702	426,518	95,509	732,729

各施設とも基本的支出は平準的なものとなりますが改修工事の実施により年間支出に差異が生じたものです。具体的に滝沢市勤労者体育センターについては平成26年度に屋根外壁の改修を行ったことから支出が増大したものです。また、滝沢総合公園体育館については平成26年度にトイレの改修、平成27年度には屋根外壁、天井の改修と照明のLED化を図りました。滝沢総合公園陸上競技場は平成28年度に開催された第71回国民体育大会希望郷いわて国体のサッカー成年女子決勝会場とするため平成26年度にフィールドの芝生について整備したものです。

1.1 施設の評価

施設の方向性を判断するために、**ハード面**と**ソフト面**の両面から評価を行います。

ハード面は、躯体そのものに係る躯体の判定と屋根や外壁、設備などの躯体以外の判定により評価を行います。

ソフト面は、施設の利用実績や施設運営コストなど、施設運営面からの評価を行います。

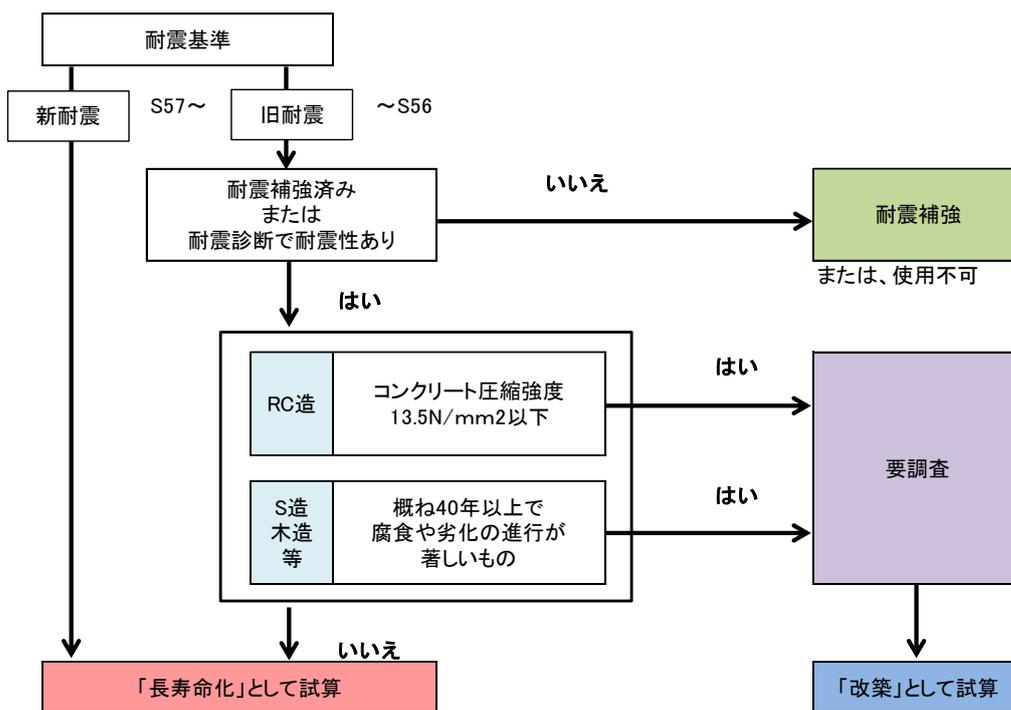
(1) 施設ハード面の評価

ア 躯体の判定

旧耐震基準で建設された公共施設は、全ての施設で耐震補強工事が完了しているほか、非構造部のうち、特定天井についても落下防止対策工事が完了しており、災害時の拠点施設としての機能が確保されています。

長寿命化とする施設の判定は、具体的な解説がある文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の長寿命化判定フローを用いて行います。また、目視による評価の基準を以下のように定め、評価を行います。これらの評価結果を踏まえ、躯体の判定を行います。

① 躯体の長寿命化判定フロー



② 躯体目視による評価基準

躯体目視による評価	
評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等



○ 躯体の判定結果

スポーツ施設の躯体の判定結果は、下表のとおりとなりました。経年劣化による老朽化が見られるものの、長寿命化可能と判定されました。

施設名	建物名	建築年度	構造	耐震基準	耐震補強	躯体目視	躯体判定
滝沢市東部体育館		1982	RC造	新	—	B	長寿命化
滝沢市勤労者体育センター		1986	S造	新	—	A	長寿命化
滝沢総合公園体育館		1990	RC造	新	—	A	長寿命化
滝沢総合公園野球場		1990	RC造	新	—	B	長寿命化
滝沢総合公園陸上競技場		1990	RC造	新	—	B	長寿命化
滝沢総合公園テニスコート	クラブハウス	1990	RC造	新	—	B	長寿命化

イ 躯体以外の判定

躯体以外の評価基準についても、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」により次のとおりとし、目視、または経過年数を基準とし判定します。

なお、目視等は劣化状況調査票を用い健全度を算出します。

① 屋根・屋上、外壁・外部の目視による評価基準

良好  劣化	評価	基準	評価点
	A	概ね良好	100
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)	75	
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)	40	
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等	10	

② 内部、電気設備、機械設備の経過年数による評価基準

良好  劣化	評価	基準	評価点
	A	20年未満	100
B	20～40年	75	
C	40年以上	40	
D	経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある場合	10	

③ 部位のコスト配分

部位	屋根・屋上	外壁・外部	内部	電気設備	機械設備	計
コスト配分	5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60.0

④ 健全度

健全度は以下の計算式で算出します。

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値(60点)で除します。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

○躯体以外の判定結果

判定の結果、東部体育館の屋根・屋上、外壁・外部において、劣化が著しく C 評価となりましたが、それ以外の項目及び施設においては、B 評価以上の判定となりました。

東部体育館においては、長寿命化を図って行くためには、C 評価部分について、修繕・改修が必要と考えられます。

健全度の点数に関わらず C、D 評価の部位は、今後、当該施設を長寿命化していくためには、優先的に修繕・改修が必要な部分となります。

施設名	建物名	屋根・屋上		外壁・外部		内部		電気設備		機械設備		外構	躯体以外の健全度 総和(部位の 点数×部位の コスト配分)÷ 60
		コスト 配分	5.1	コスト 配分	17.2	コスト 配分	22.4	コスト 配分	8	コスト 配分	7.3		
		評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数		
滝沢市東部体育館		C	40	C	40	B	75	B	75	B	75	B	62
滝沢市勤労者体育センター		A	100	A	100	B	75	B	75	B	75	B	84
滝沢総合公園体育館		A	100	A	100	B	75	B	75	B	75	B	84
滝沢総合公園野球場		B	75	B	75	B	75	B	75	B	75	—	75
滝沢総合公園陸上競技場		A	100	A	100	B	75	B	75	B	75	B	84
滝沢総合公園テニスコート	クラブハウス	B	75	B	75	B	75	B	75	B	75	B	75

ウ 施設ハード面の評価

上記の「躯体の判定」「躯体以外の判定」から、施設ハード面の評価を行います。また、評価は、以後に行うソフト面の評価も踏まえた総合判断を行うため5段階評価とし、次のとおり評価点を求めます。

評価が3点の施設は、今後、当該施設を長寿命化していくには、優先的に修繕・改修が必要なものと判断できます。

① 評価基準

点数	評価内容
5点	健全度が90～100
4点	健全度が70～89
3点	健全度が40～69
2点	健全度が10～39、もしくは躯体が要調査/改築と判定されるもの
1点	健全度が10以下、もしくは躯体が使用不可と判定されるもの

○施設ハード面の判定結果

東部体育館において、屋上や外壁の評価が低かったことから、健全度も 62 点、評価も 3 点となりました。それ以外の施設については、経年劣化による痛みも見え始めており、評価点は 4 点となりました。

施設名	建物名	躯体判定	躯体以外の健全度	評価点 5.0満点
			総和(部位の 点数×部位の コスト配分)÷ 60	
滝沢市東部体育館		長寿命化	62	3.0
滝沢市勤労者体育センター		長寿命化	84	4.0
滝沢総合公園体育館		長寿命化	84	4.0
滝沢総合公園野球場		長寿命化	75	4.0
滝沢総合公園陸上競技場		長寿命化	84	4.0
滝沢総合公園テニスコート	クラブハウス	長寿命化	75	4.0

(2) 施設ソフト面の評価

ソフト面の評価については、年間利用者数率、年間稼働日数(率)、市のコスト(年間維持費)を基準とし、ソフト面の評価点を出します。評価点は、5段階評価で3つの基準の平均点とします。計算式でマイナス評価となった場合は、1点とします。

また、学校、公営住宅は評価が難しいため別基準とします。

なお、人命に関わる施設(庁舎、消防、防災施設等)及び評価基準にそぐわない施設(給食センター、市民福祉センター、牧野施設、倉庫等)は、施設ソフト面の評価対象外とします。

① 評価基準(基本)

指標	評価内容
①年間利用者数率	利用率で評価
②年間稼働日数	稼働率で評価
③市のコスト	市のコスト(年間維持費)で評価

点数	①年間利用者数率	②年間稼働日数率	③市のコスト
	年間利用者数÷ (収容人員×開館日数)	年間開館日数/365日	対象施設の平均値(100%) に対する割合
5点	100%以上	100%以上	40%未満
4点	75%以上100%未満	75%以上100%未満	40%以上80%未満
3点	50%以上75%未満	50%以上75%未満	80%以上120%未満
2点	25%以上50%未満	25%以上50%未満	120%以上160%未満
1点	25%未満	25%未満	160%以上

※収容人員が定められていない場合、消防法施行令第1条の2第4項の総務省令で定める収容人員の算定方法より算出する。

※年間維持費の例:光熱水費、修繕費、維持管理に必要な各種委託料 など

② 評価基準(学校)

指標	評価内容
利用実態(学級数)	各学校の普通学級数で評価

点数	利用実態
	学級数
5点	26学級以上
4点	19学級以上25学級
3点	12学級以上18学級(H27文科省手引き 適正規模の標準)
2点	5学級以上11学級
1点	4学級以下

③ 評価基準（公営住宅）

指標	評価内容
①年間利用戸数率	利用率で評価
②市のコスト	市のコスト(年間維持費)で評価

点数	①年間利用戸数率	②市のコスト
	年間利用戸数/利用可能戸数	対象施設の平均値(100%)に対する割合
5点	100%以上	40%未満
4点	75%以上100%未満	40%以上80%未満
3点	50%以上75%未満	80%以上120%未満
2点	25%以上50%未満	120%以上160%未満
1点	25%未満	160%以上

○ソフト面の判定結果

テニスコートは、各種大会のほか個人やグループでのニーズも高いことから日常的に利用頂いている実態があり、必然的に利用率が高くなり評価点も 3.7 点となりました。一方、野球場や陸上競技場に係る利用については、基本的に大会やイベントなどが主な形態となり、日常的な利用については少ないため、評価点についても 2.3 点とやや低くなりました。

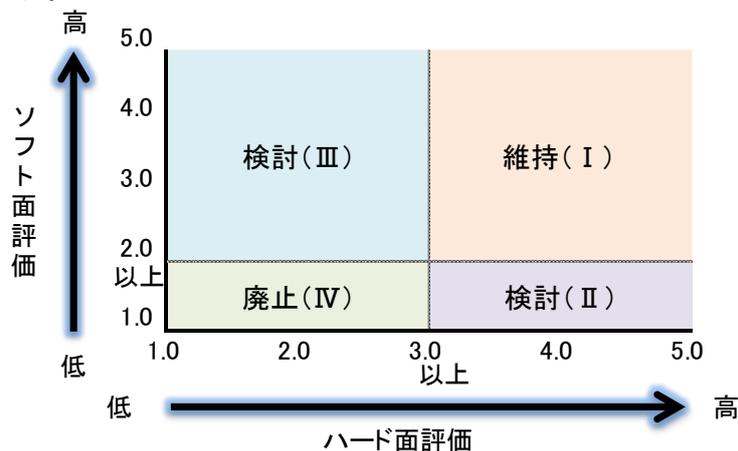
施設名	基本評価				評価点 (5.0満点)
	利用率	稼働率	コスト	平均点	
滝沢市東部体育館	1.0	4.0	3.0	2.7	2.7
滝沢勤労者体育センター	1.0	4.0	4.0	3.0	3.0
滝沢総合公園体育館	2.0	4.0	3.0	3.0	3.0
滝沢総合公園野球場	1.0	3.0	3.0	2.3	2.3
滝沢総合公園陸上競技場	1.0	3.0	3.0	2.3	2.3
滝沢総合公園テニスコート	5.0	3.0	3.0	3.7	3.7

(3) 施設の方向性

施設の「ハード面」及び「ソフト面」の評価結果から、施設の方向性を判定します。方向性の判定については、次の判断フローを用います。

① 方向性判断フロー

ハード面及びソフト面の評価を、それぞれ 5 段階に点数化したものを 4 つの類型に振分けします。



一次評価		方針(計画期間内)/見直し(計画期間外)		
		方向性	内容	
維持	I	存続	現状維持	現状のまま維持
			多機能化	別の目的の施設機能の追加
			集約化	同じ目的の複数施設を集約
			見直し	運営方法・使用料等の見直し
			広域化	他自治体等と供用
			その他	
検討	II	存続	多機能化	別の目的の施設機能の追加
			集約化	同じ目的の複数施設を集約
			見直し	運営方法・使用料等の見直し
			広域化	他自治体等と供用
			その他	
		廃止	譲渡・売却	民間事業者等に譲渡・売却
			転用	施設機能を廃止し他用途へ転用
			移管	地域利用に限定される場合
			その他	
			検討	III
広域化	他自治体等と供用			
その他				
廃止	譲渡・売却	民間事業者等に譲渡・売却		
	機能移転	施設を除却し機能に移転		
	その他			
廃止	IV	廃止	譲渡・売却	民間事業者等に譲渡・売却
			除却	施設を除却し機能廃止
			その他	

○施設の方向性、総合判定結果

ハード面とソフト面の評価結果より、すべての施設において、総合評価としては、「維持 I」と判定されました。

施設名	建物名	定量評価		
		ハード面評価 (5点満点)	ソフト面評価 (5点満点)	一次評価 結果
滝沢市東部体育館		3.0	2.7	維持 I
滝沢市勤労者体育センター		4.0	3.0	維持 I
滝沢総合公園体育館		4.0	3.0	維持 I
滝沢総合公園野球場		4.0	2.3	維持 I
滝沢総合公園陸上競技場		4.0	2.3	維持 I
滝沢総合公園テニスコート	クラブハウス	4.0	3.7	維持 I

1.2 現状と課題

全ての施設に係り、建設後相当の年数を経過している状況の中、建築物の健全な保有と利用者への一定のサービスを提供するためには、継続的に修繕や改修を施すことが必要となる中、タイムリーな修繕、改修が実施できていない状況にあります。例えば令和2年度に実施する滝沢市東部体育館の屋根外壁改修であります。屋根については全面の葺き替えを行うこととしています。築37年を経過する中で、屋根を保全するために定期的な塗装工事を行うことが出来れば、全面葺き替えまでは必要なく管理できたものと考えられます。結果として今回の葺き替えのような多額の費用を要せず低廉に健全な建築物保有が可能となった一例と考えます。施設管理に関して、国庫補助事業などの導入に頼らざるを得ない現状の財政状況の中、定期的な修繕にも苦慮しているところではありますが、より一層の工夫をし、維持管理に努める必要があります。

1.3 今後の施設のあり方

滝沢市の施設は、人口一人当たりの延床面積が約2.1m²（2017年現在）であり、全国的に見ても多いとは言えませんが、将来の人口見込みは、2050年で約15%減となる推計です。今後も続く厳しい財政状況下において、全ての施設において大規模改修を実施することは難しく、優先順位を付ける必要があります。

体育施設に於いても同様であり、優先順位と年次的に財政出動が平準化できるような計画の上に施設を管理していくことが肝要となります。

(1) 施設の長寿命化

SRC造、RC造及びS造（普通品質）については、総合管理計画より竣工後30年後に大規模改修、60年後に建替えを基本としますが、長寿命化を図ることにより、さらに施設の延命化・有効活用（築後約80年後に建替えを目安とする）を図っていくこととします。既に大規模改修等の実施時期を超過している施設については、施設の状態等を踏まえながら実施時期を検討していくものとしますが、施設別方針において、「現状維持」としている施設を優先的に、「その他」としている施設については、当面、部分的な修繕対応で今後の方向性を見極めながら対応していくものとします。

(2) 施設の維持管理コストの縮減、PPP（公民連携）等の推進

施設改修の際は、省エネルギー設備を積極的に導入するほか、指定管理者制度や包括外部委託をはじめとしたPPPの積極的な導入を検討し、維持管理コストの縮減を図ります。また、施設の大規模改修や更新の手法を検討する際には、施設の役割を勘案しつつ、PFI*やESCO事業*等の導入を検討します。

※PFI：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービスの向上を図る公共事業の手法をいう。

※ESCO事業：基本的に省エネルギー改修にかかる費用を光熱水費の削減分で賄う事業をいう。

(3) 施設の最適化

施設の大規模改修・更新の際には、施設の位置づけや安全性を考慮しつつ、他類型施設との複合化や類似機能の集約化を検討します。また、施設の更新は既存施設の規模を

超えないものとし、新たに施設を設置する必要がある場合には、既存施設との複合化や多機能化などを検討します。

施設の大規模改修や更新を実施する際には、多様な利用者を考慮し、ユニバーサルデザインに配慮します。

(4) 利用者の安全確保

各施設において、高度の危険性が認められた公共施設等については、速やかに修繕を実施します。また、老朽化等により供用廃止され、かつ、今後も利用見込みのない公共施設については、十分な安全対策を実施するとともに、解体や除却等を検討します。

(5) 更新費用の削減

施設の管理については、総合管理計画により、量、質、サービス及びコストの見直しを図り、「**縮小させつつ、充実を図る～縮充～**」を方針としています。

集会施設においては、基本的に長寿命化の方向としますが、社会経済状況を踏まえながら、施設の在り方について検討していくものとします。

総合管理計画 (改修・更新費用) (面積)	個別施設計画
	(縮充後の費用) (縮充後の面積)
【スポーツ施設】 約 22 億円 11,320 m ²	約 22 億円 11,320 m ²

(6) 近隣自治体との連携

保有する施設を効率的・効果的に使用するため、県や近隣自治体等との広域的な施設利用が図れる場合は、広域連携の検討を行います。

(7) 財源の確保

本市の財政は、扶助費等の義務的経費の増加や様々な行政需要の増加などにより極めて厳しい状況が続いているため、財政構造改革等により事務事業の見直し、受益者負担の見直し等の取組を進めています。しかしながら、少子高齢化の進行等により、社会福祉関連経費の更なる増加が見込まれることなどから、今後の財政状況は一層厳しさを増すと考えられます。

そこで、公共施設の大規模改修や建替えに充てるための基金の設置や、未利用資産の売却や貸付による増収などの方策を検討する必要があります。

将来世代にとって必要と判断された公共施設の大規模改修等の経費には、一般財源、基金を充当するほかに、各種事業債や補助金等を活用し財源の確保に努めます。

1.4 個別施設方針

(1) 中長期計画（スポーツ施設）

施設別方針（対策内容と実施時期）

	施設名	建物名	定量評価 一次評価 結果	方針(計画)				方針(見直し)			
				2019(現状)		2026(第1期)		2036(第2期)		2046(第3期)	
				方向性	内容	方向性	内容	方向性	内容	方向性	内容
29	滝沢市東部体育館		維持 I	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
30	滝沢市勤労者体育センター		維持 I	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
31	滝沢総合公園体育館		維持 I	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
32	滝沢総合公園野球場		維持 I	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
33	滝沢総合公園陸上競技場		維持 I	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
34	滝沢総合公園テニスコート	クラブハウス	維持 I	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持

(2) 対策費用（第一期計画）

(単位:千円)

施設名	建物名	第一期									
		2018 H30	2019 H31・R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	
滝沢市東部体育館			改修設計 4,400	改修工事 120,000							
滝沢市勤労者体育センター					バスケット改修 4,080						
滝沢総合公園体育館				ボイラ更新 23,164	受電ケーブル 1,682	フローリング改修 70,604					
滝沢総合公園野球場											
滝沢総合公園陸上競技場							メインスタンド壁改修 8,530				
滝沢総合公園テニスコート	クラブハウス										

※実施年度及び金額は概算であり、必要に応じて見直すものとします。